

事業概要説明シート

事務事業番号 30998

事務事業名	生涯学習事業		
事業開始年度	平成17(2005)年度	担当部署	地域振興部生涯学習課

根拠法令	決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的 (何のために)	市民あるいは他部署との連携事業や美術関係事業、IT基礎技能関係事業を展開することにより、学びの機会を提供する。

対象 (誰・何を対象に)	市民
-----------------	----

事業内容	<p>各生涯学習市民センター等において、市民や市内文化団体、地元商店会等と連携してさまざまな文化学習事業を行う。</p> <p>○ひらかた人形劇連絡会との連携事業 ①「サンサン人形劇場」実施回数9回 960人 ②「初級人形劇づくり講習会」実施回数16回(発表1回含む) 165人 ③「人形劇中級講座」実施回数1回 45人 合計 1,170人</p> <p>○「御殿山生涯学習美術センター美術関連事業」実施回数10回 2,151人</p> <p>○「まつりなど市民主体の事業」実施回数6回 8,600人</p> <p>○公益財団法人枚方市文化国際財団との連携による「地域コンサートシリーズ」2回 257人</p> <p>○他部局との連携による生涯学習講座「もっと知りたい枚方市の取り組み」6回 79人</p> <p>○人権政策室の連携による「枚方市平和の日記念事業企画展」1回 874人</p> <p>○緊急雇用促進基金事業「就労と学習のためのIT基礎技能フォローアップ講座」実施回数48回 505人</p>
------	---

類似事業	なし
------	----

事業の必要性	他部局等との連携・協力により、市民の自主的な学びのきっかけ作りとなる文化学習事業を開催し、まちづくりにつなげる。
--------	--

コスト										
		H22年度決算			H23年度決算			H24年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費		従事職員数	概算人件費		従事職員数	概算人件費	
正職員		2.00人	16,228千円		1.70人	13,753千円		1.50人	12,000千円	
	再任用職員	0.25人	877千円		0.29人	1,001千円		0.29人	1,007千円	
	非常勤職員等	1.73人	5,067千円		1.54人	4,372千円		1.37人	3,713千円	
人件費計(A)			22,172千円			19,126千円			16,720千円	
直接経費(B)			3,577千円			3,290千円			1,295千円	
総事業費(A+B)			25,749千円			22,416千円			18,015千円	

財源内訳										
		H22年度決算			H23年度決算			H24年度当初予算		
国庫支出金		0千円		0千円		0千円		0千円		
府支出金		2,625千円		2,237千円		0千円		0千円		
受益者負担(使用料等)		0千円		0千円		0千円		0千円		
その他		0千円		2千円		5千円				
一般財源		23,124千円		20,177千円		18,010千円				

		内 容	金 額
平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)		[緊急雇用創出基金事業]就労と学習のためのIT基礎技能フォローアップ講座	2,237千円
		人形劇関連事業	352千円
		御殿山生涯学習美術センター美術関連事業	674千円

事業概要説明シート

事務事業番号 30998

事務事業名	生涯学習事業		
事業開始年度	平成17(2005)年度	担当部署	地域振興部生涯学習課

活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
	① 生涯学習事業の開催回数	回	146	99	54
② 総参加者数	人	15,001	13,636	14,000	
③					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/実施延べ回数	円	176,363	226,424	334,518
	② 総事業費/総参加者数	円	1,716	1,644	1,286
	③				
成果目標 (目標とする成果)	市民あるいは他部局との連携事業や美術関係事業等の延べ回数の充実				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)					
特記事項	<p>平成18年10月に生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進体制の再編を行い、教育委員会社会教育部で実施していた事業を市長部局生涯学習課で実施することになった。センター(旧公民館)の主催事業については、平成19年度以降、活動委員会事業として実施している。平成23年2月に再編の検証を行い、生涯学習市民センターの認知度の向上、学習機会提供の充実などを今後の課題とした。</p> <p>なお、緊急雇用創出基金を財源とした「就労と学習のためのIT基礎技能フォローアップ講座」については、平成21年度から23年度の3年間にわたって実施し、一定普及がみられ、他部署でも同様の取り組みがあることから平成23年度をもって終了した。</p> <p>生涯学習講座「もっと知りたい枚方市の取り組み」については、今年度は、教育委員会文化財課と連携して楠葉に関する歴史講座と高齢者福祉をテーマにした学習講座を行う。また、地域コンサートにおいては、地元出身の音楽家に出演の機会を提供し、参加者層の拡大に努める。御殿山生涯学習美術センターの事業においては、地元商店会との連携により、企画展作品の店舗での展示など事業協力をすすめる。市民文化団体である人形劇連絡会との連携による人形劇関連事業についても引き続き実施する。</p>				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	各生涯学習市民センター等において、さまざまな文化学習事業を行い、センターの認知度向上と、学習機会提供の充実に努める。			
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を精査し、事業費の削減を検討することが必要ではないか ・民間との連携を検討してはどうか 				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	<p>利用率の向上を図るため、事業内容を精査しつつ、センターの認知度向上・学習機会提供の充実に努める。</p> <p>美術関連事業については、総合文化施設の整備に合わせ既存美術関連施設のあり方を検討する中で見直しを図る。</p> <p>市役所内の他部局や公益財団法人、地元商店街などの民間事業者との連携を進め、より一層、効率的かつ効果的な事業実施に努める。</p>			